

乙卯六月十九日

死屍流着

上中

露國軍艦乗組ノ水夫溺死ノ義ニ付御届

明治十年十一月十九日當使管下第八大區一小
 區後志國瀨棚郡瀨棚村海岸ノ露國軍艦アレウ
 ト號漂到破摧^候ニ付該艦乗組ノ内士官二名水夫
 十三名ハ舩澤及ヒ殘品者守トシテ滞留候様^也
 一號ヲ以^上開申仕置候處本年四月廿日該國
 軍艦アルマツク號右人質引取トシテ同所ハ入
 津浦人質本艦ハ塔架ノ際激浪ノ為ノ端舩沈没
 候ニ付出張官吏等不取敢故^候援^手配^ニ及^ヒ乗
 組二十五名ノ内十三名扶助^金十二名ハ溺死致候
 趣^着者^候溺死十三名ノ内十一名ノ死屍ハ追々流
 着^候郡墳墓地江埋葬取計候故函館支廩ヨリ届

69

明治十年十一月十九日

出候家此候御席仕候也

古八本年第三十二

不取敬告候置共時共今候御席御座

明治十一年七月

日 関拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

Faded vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

明治十一年七月十日

長官

書

會計

用

書式長官御席仕候御座

別紙一通御席仕候御座

御席仕候御座

御席仕候御座

御席仕候御座

御席仕候御座

開石使